

利用成果報告書

- 1 課題番号 R1-003
- 2 報告者 小林 夕香 J-ケミカル株式会社
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 レクチンの相互作用解析
- 5 使用装置名 BIACORE 分子間相互作用解析装置
- 6 利用期間 令和 元年 7月 16日 ~ 令和 2年 3月 31日
- 7 利用成果・
実績の概要 当社が製造しているレクチン10種を用いて、モデル糖タンパクとしてfetuin、チログロブリンを固定化し相互作用解析をおこなった。コンカナバリンA、インゲンマメレクチンE、L、デイゴレクチン、レンズマメレクチン、エンドウマメレクチン、小麦胚芽レクチンで結合性が確認できた。これらのデータは、当社のホームページなどで公開し、レクチン利用の一例としても公開していきたいと考えている。
- 8 社会・経済へ
の波及効果 技術情報として当社ならびに関連のwebサイトで公開し、研究者の皆様の研究の一助となるよう進める。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当なし